

1 学年通信

(発行者) ついに夏休みです。安心・安全一番で過ごそう。

夏休み号

2025.7.18(金)

【7月の目標】ありがとう、心にためてない？

「ありがとう」は、言われるとうれしいだけでなく、自分の心もあたたかくなる“魔法の言葉”です。けれど、照れくささやタイミングの難しさから、つい心の中にしまいこんでしまうこともあるのではないのでしょうか。

「言わなくても伝わるだろう」ではなく、「言葉にして伝えよう」と意識することが、相手との信頼やつながりを育てていきます。

現在、各クラスでは級長たちが日替わりで「今日のひと言」を掲示してくれています。

「ありがとうを1回言おう」「手紙を渡すときに“お願いします”“ありがとう”と言おう」など、日常の中にある“ちょっとした優しさ”を言葉で伝えるきっかけを、毎日作ってくれています。

その一言は、ほんの小さなことかもしれませんが、でも、それを積み重ねていけることが、あたたかい学年づくりの力になります。7月は、「ありがとう」という思いを心にためずに、ぜひ声に出して伝えてみましょう。きっと、言われた相手の心にも、言った自分の心にも、やさしい変化が生まれるはずですよ。

思い出してほしいこともあります。4月には、あいさつを大切にしようという意識が学年全体に広がり、元気な声がたくさん飛び交っていました。しかし最近では、その元気な声が少しずつ減ってきているように感じます。

私が見ていて思うのは、普段からよく接している先生や友達には明るくあいさつできていても、あまり関わりのない人には消極的になっていることがあるということです。

だからこそ、改めて「どんな相手にも、さわやかにあいさつできる」学年を目指していきたいと思えます。あいさつは相手との距離を縮める第一歩であり、気持ちのよい関係づくりの基本でもあります。7月は“ありがとう”と“あいさつ”のダブルで、思いやりのある行動を日常にしていけるよう、みんなで声をかけ合っていきましょう。



フジテレビ校外学習へ行ってきました

7月1日、私たちは校外学習でお台場のフジテレビに行ってきました。

何よりもまず、安全に、そして無事に全員で帰ってこられたことが最大の目標の達成です。バスの中でも、移動の場面でも、大きなトラブルはなく、落ち着いて行動する姿が見られました。予想以上に早く到着したお台場では、予定にない集合写真撮影をしたり、公園で自由時間を設定するなど、しおりにない内容も協力して取り組むことが

今回の見学で印象に残ったのは、フジテレビのスタッフの方々の温かさです。

初めての環境に少し緊張していた1年生に、「大丈夫！大丈夫！」と声をかけてくださったり、収録体験が終わった後には、「はい、お疲れさまでしたー！！」と拍手とともに盛り上げてくださったり…。

スタッフの皆さんの声かけや表情のひとつひとつから、相手が気持ちよく仕事に向かえるようにという“心配り”を感じました。

その姿を見て、「私たちも、学校生活の中で取り入れられることがあるのではないかと強く感じました。

例えば、授業中の発表に対して「いいね！」とリアクションしたり、友達のがんばりに「お疲れさま！」と声をかけたり。

相手の努力を認め、場をあたたくする声かけは、きっと学年の雰囲気をもさらに良くしてくれます。

また今回、生徒たちは時間をしっかり守り、持ち物や約束事にもきちんと取り組んでいたことも大きな成果でした。

こうした基本的な力は、今後の校外学習やキャリア教育の場面でも生きていきます。

今回の学びと経験を、次の機会にしっかりとつなげていきたいと思います。

定期テストについて

中学校生活ではじめての定期テストが終わりました。緊張や不安の中、しっかりと最後まで取り組んだこと、それ自体が大きな一歩です。さて、結果はいかがだったでしょうか。

テストの目的は、「できた・できなかった」をはっきりさせることではなく、“次にどうつなげるか”を考えることにあります。いきなり 100 点を目指すのは、誰にとっても難しいことです。今 50 点だった人は次に 60 点を、80 点だった人は 85 点を目指すというように、自分自身の中での少しの成長を大切にしていけることが、中学校での学びの基本です。



また、定期テストに関わる提出物の提出やノートの記入も、とても大切な力のひとつです。中には「提出物が多すぎて、学校に行きたくないな…」と思った人もいたかもしれません。でも、そう感じた経験こそが「次はもう少し早く始めよう」「計画を立てて進めよう」と気づくきっかけになります。

まだまだ中学 1 年生。これから勉強のやり方を少しずつ身につけていけば大丈夫です。今の時期に“基礎・基本”を大切に、コツコツと積み重ねていく力を育てていきましょう。

夏休みに向けて

3 年前の 7 月、あるニュースが報じられました。

漫画『遊☆戯☆王』（知ってるかな？）の作者・高橋和希さんが、沖縄でシュノーケリング中に事故に遭い、亡くなられていたとのことです。突然の事故は誰にでも起こりうるものです。「自分の命は自分で守る」という意識をあらためて持ち直したいと思います。

◎交通事故にご注意を

交通事故は、自分が気をつけていても相手から来ることがあります。「自分の命は自分で守る」という意識で、日ごろの歩き方・自転車の乗り方を見直してみましょう。

◎SNS・LINE の使い方

SNS は楽しい一方で、「この書き込みで相手はどう思うか」を考えることがとても大切です。

今年度もネットパトロールの方が見守っています。写真や言葉の一つひとつに責任もちましょう。

◎部活動、どう向き合う？

いよいよ部活動が本格化しています。「2 年生を支え、やがて追い越す」つもりで、自分なりの目標をもって取り組んでほしいです。本気でやってみることでしか見えない景色があります。

◎悩みはひとりで抱えないで

つらいことや困ったことがあったら、いつでも先生たちに相談してください。話してくれたら、私たちは必ず力になります。「話していいのかな…？」そう思った時が、実は“今、相談するとき”かもしれません。

◎公共の場でのふるまい

外に出れば、そこにはお店のルールや周りの人たちの空気があります。「今、自分の行動は周囲を不快にしているのかな？」と一歩立ち止まって考えること。それが中学生としてのマナーであり、社会に出る準備でもあります。



9月の学年行事

1 日始業式（午前日課）	2 日弁当持参	3 日給食開始	6 日～テスト前諸活動停止
10・11 日定期試験（給食なし）	25 全校評議会	29 日学年裁量日	